

# 仙台市ボランティアセンター広報誌

# ぼらせん

BORASEN

vol. 19  
2023  
Autumn

特集

## 支え合うことの大切さを学ぶ 夏のボランティア体験会



「ゆう貝ヶ森」でのボランティア活動体験会の様子



第二白東苑

### 貴重な体験をこれからの活動に活かす

「人の役に立つことがしたい」「自分の力をもっと活かしたい」「いろいろな人と接してみたい」など、ボランティア活動に興味はあっても、初めの一步を踏み出すのは難しいものです。仙台市社会福祉協議会では、ボランティア活動に興味や関心のある中学生以上の方を対象に、市内の地区社会福祉協議会やボランティア・市民活動団体、社会福祉施設などで実際にボランティア活動を体験してもらう「夏のボランティア体験会」を開催しました。

次代を担う多くの若者が参加することで、ボランティア・市民活動への理解を深め、ボランティア活動を始めるきっかけにつながっています。



元気サロン鉤取りいきいきクラブ

### Contents

#### 特集

- 支え合うことの大切さを学ぶ  
夏のボランティア体験会 ..... 1-3  
・ 仙台つるがや福祉会 ゆう貝ヶ森  
・ 中野栄あしぐるこども園  
・ 社会福祉法人仙台ビーナス会 第二白東苑  
・ 元気サロン 鉤取りいきいきクラブ
- 企業の社会貢献 ..... 4  
・ 株式会社カインズ  
・ 地域のボランティア育成講座
- 子どもの居場所づくり支援 ..... 6  
・ あらいこども食堂
- ボランティアセンターからのお知らせ ... 7
- イベントインフォメーション ..... 8

# 特集

夏のボランティア  
体験会

ゆう貝ヶ森・中野栄あしぐるこども園・第二白東苑・鉤取いきいきクラブ

## 出会いや触れ合いが かけがえのない心の財産に



元気サロン鉤取いきいきクラブ



ゆう貝ヶ森



第二白東苑



中野栄あしぐるこども園



元気サロン鉤取いきいきクラブ



ゆう貝ヶ森

### ー興味を持った活動先でボランティア体験

夏のボランティア体験会では、数ある体験先の中から興味関心のある活動を選び、子どもや障害者、高齢者などさまざまな人と交流することができます。体験先の一つである、社会福祉法人仙台つがや福祉会ゆう貝ヶ森(仙台市青葉区、以下ゆう貝ヶ森)は障害者の身体機能や生産能力の向上のために必要な支援を行っている施設です。

障害がある方と関わってみたいという思いからゆう貝ヶ森での活動に参加した和泉さん(仙台高校3年生)は「表情や動作を通じて気持ちが伝わることを知り、人を見る力が大切だと感じました」と話します。親のすすめで参加した服部さん(尚絅学院高校2年生)は「最初は緊張しましたが、時間が経つにつれて利用者の方と打ち解け、

心の距離を縮めることができました」と話してくれました。

ゆう貝ヶ森の施設長である伊藤さんの「利用者の方の様々な個性に触れることで、その支援をする仕事を知って頂きたい」という思いは、高校生たちの胸にもしっかりと届いたようです。

地域のつながりを大切に愛情をもって子どもたちの成長を支えている中野栄あしぐるこども園では、先生方が「ボランティアの方が来ると子どもたちも大喜びなんです」と話すように、参加者の周りは園児たちの笑顔でいっぱいでした。

かつて自分も園児として通っていたという名取さん(宮城野高校2年生)は「活動を通じてコミュニケーションの大切さを知りました。また、ボランティア体験をすることで自分自身の進路の選択肢も広がりました」と話します。

## ひとりひとりの元気をみんなの元気に!

### ≡ コミュニケーションから生まれる人との絆 ≡

「ボランティアの学生さんが来ると、入居者の皆さんが笑顔になります」と話してくれたのは、社会福祉法人仙台ビーナス会第二白東苑(仙台市太白区、第二白東苑)で副主任を務める石井さんです。第二白東苑は、入居者が自立した日常生活が送れるように支援する特別養護老人ホームです。

父親が介護関係の仕事に就いているという松田さん(仙台城南高校2年生)は「1人の職員が5~6人の利用者の方の相手をしているのがすごいと思いました」と驚きを隠せない様子。高齢者の方と関わりたいという思いから参加した渡邊さん(仙台城南高校2年生)は「普段経験できないことができるとても新鮮な気持ちです。機会があればまたボランティア活動をしてみたいです」と話してくれました。

地域の高齢者を対象にリズム体操や頭の体操などを行っている元気サロン鉤取いきいきクラブ(仙台市太白区、以下鉤取いきいきクラブ)。県南の山本町から通って

きた菊地さん(宮城県工業高校3年生)は自分が希望する進路と関係のある高齢者の方の動きやコミュニケーションの取り方を学ぶために鉤取いきいきクラブの活動に参加。「自分の地元の高齢者の方に比べて皆さん元気だと感じました」と笑顔を見せていました。学校の部活動でボランティアに取り組んでいる加藤さん(仙台育英高校3年生)は「学校の活動とは違う良い経験ができました。高齢者の皆さんが優しく話かけてくれたことが嬉しかったです」と話してくれました。

鉤取いきいきクラブ代表の岩下順郎さんも「高齢者の輪に溶け込んでよくやったと思います。地域にはさまざまなボランティアがあるので、目配りや気配りを大切にどんどん参加してほしいです」と目を細めていました。

ボランティア初体験の方が多く参加した夏のボランティア体験会。この夏の体験をきっかけに、ひとりでも多くの方が今後もボランティアに取り組んでくれることを願っています。



元気サロン鉤取いきいきクラブ



第二白東苑



第二白東苑



中野栄あしぐるこども園

まちのくらしをみんなでDIY



防災イベント



くみまち学校



防災イベント



防災イベント

これからの地域のくらしを、より安心に、より楽しく、より個性を伸ばすために、地域の皆さんと協力し、地域の皆さんが主役の、未来の「まちのくらし」を共に創っていきましょうというのが、カインズの「くみまち構想」です。「くみまち」の意味は「組む+まち」。人々が自立し、共に楽しみ、助け合える、ひとりひとりが主役になれる「まち」の実現を目指しています。

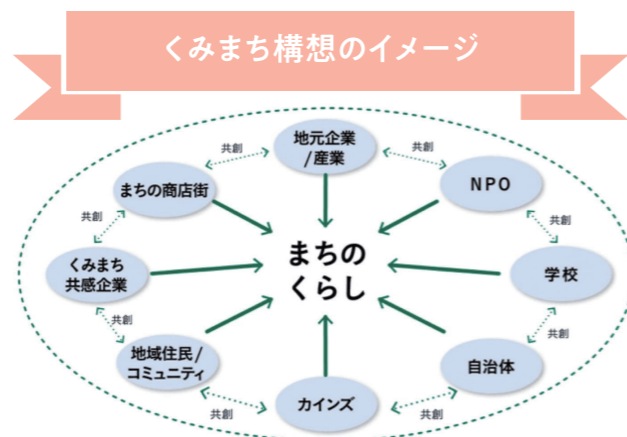
カインズの本部がある埼玉県周辺の店舗では、行政との共催による防災イベント（朝霞市防災フェア）や、企業や教育機関などと共催するくみまち学校など、地域と連携しながら、さまざまな活動に取り組んでいます。

「こうした先行エリアでの事例を参考に、もっと各地に広げていこうと私たちも勉強中です」と語るのは、株式会社カインズのエリアマネージャー兼くみまちマネージャーの生江昭仁さんです。「もっと多くのことを学んだら、いずれは『まち』と組んで、地域の人々のくらしに寄り添った企画を具現化していきたいと考えています。

地域に根ざしたカインズの店舗や、そこで働くメンバーが、地域を支える人々と共創しあえる中心的存在となり、地域のくらしに貢献できることが目標です」と語ります。

仙台でのカインズの「くみまち構想」はまさにこれから。その第一歩として、宮城野区ボランティアセンターと一緒に生活支援をテーマに講座を開催しました。

今後も、商業を通して社会の発展に資するという志を持って、地域の未来を見つめていきます。



暮らしのちょっとした困りごとを解決



入念な作業



手順を確認



仕上がりをチェック

令和5年7月、宮城野区ボランティアセンター主催「地域のボランティア育成講座」を開催しました。今回のテーマは「生活支援」。高齢者の単身世帯が増えている中、暮らしのちょっとした困りごとを解決し、地域住民が共に助け合える地域をつくることを狙いに、カインズのスタッフによる住まいのお手入れの講座を行いました。

「まちのくらしをみんなでDIY」を合言葉に、人々が自立し、共に楽しみ助け合える暮らしを目指すカインズの「くみまち構想」。そこに込められた想いを胸に、この日はカインズの店長クラスが駆けつけ、網戸の張り替えに関する知識や技術を地域の方々

に伝授しました。

「私たちの活動をもっと仙台で広げていきたい」と笑顔を見せるカインズの皆さん。その熱い思いに応えるように、受講者全員がいきいきとした表情で作業に取り組んでいました。

実際に傷みのひどかった網戸を綺麗に張り替えた受講者の間からは「今日ここで学んだことを今後に活かしたい」「社会とのつながりを大切にしながら、地域で暮らす高齢者の皆さんのお役に立ちたい」などの声が聞かれました。

助け合いの精神が地域に根ざし、笑顔の輪がもっと広がること、それが参加者全員の願いです。

暮らしのちょっとしたお困りごとご相談ください!

ボランティア育成講座で学んだ知識と技術を活かして、みなさんのお家の力になります! お気軽にお問い合わせください。

【問合】 仙台市社会福祉協議会 宮城野区事務所 【TEL】 022-256-3650



# 子どもの居場所づくり

～みんなの喜ぶ顔が見たいから～

あらいこども食堂（仙台市若林区）



## 「おいしかったよ」のひとことが励みに

「七郷地区にも子ども食堂がほしいよね」「今なら市の子ども食堂助成金が活用できるんですって」。今から5年ほど前、地域で子ども食堂に関する講座があり、「ぜひ自分たちも始めてみよう」という想いからスタートしたのが、あらいこども食堂です。

ボランティアスタッフは七郷地区の社会学級生が中心ですが、地下鉄駅に掲示しているチラシを見てお手伝いに来てくださる方も。

スタートしたての頃は食事だけでなく、遊びのコーナーも設けていましたが、コロナの影響で中止せざるを得なくなりました。しかし、人数を制限したり、時間を区切ったりして、あれこれ工夫をしながら、子どもも大人も安心して利用できる居場所づくりを続けています。

「ありがたいことに、地域の農家さんが旬の野菜を届けてくれるんです。子どもたちが給食で苦手だった野菜を食べられるようになったという話を聞くと嬉しくなります」と話すのは、代表の武者幸子さんです。地域の皆さんからの「おいしかったよ」の一言は、スタッフの大きな励みになっています。

武者さんは、「小学校を卒業すると、この場所から離れていくお子さんも多いですが、やがては中学生からシニアの方まで幅広く利用していただける居場所にしていきたいです」と語ります。

あらいこども食堂は、これからもみんなの喜ぶ顔がたくさん集まる地域のよりどころとして活動していきます。

## INFORMATION

「あらいこども食堂」  
に関するお問合せは

E-mail arashoku75@gmail.com

# 仙台市ボランティアセンターからのお知らせ

## 2023企業の社会貢献・CSRセミナー 参加企業募集

「アフターコロナの企業戦略」や「社会の課題を解決する社会企業の極意」について、学生と企業人で一緒に学び、考えてみませんか？



対象  
企業人や学生

講師  
（一社）会議ファシリテーター普及協会  
代表理事  
釘山 健一氏

申込・問合せ  
仙台市ボランティアセンター  
022-262-7294

### 第1回

日時／11月10日(金) 18:50～21:20  
開催方法／WEB(zoom)  
講話／「社会企業とは？」

### 第2回

日時／11月24日(金) 13:30～16:30  
開催方法／会場開催(仙台市福祉プラザ1階プラザホール)  
ワークショップ／「社会課題の解決のためにできること」

## 秋田市災害ボランティアセンターへ職員を派遣しました



秋田市では、令和5年7月14日から大雨により被災された世帯の支援を目的に、災害ボランティアセンターが設置され、県内外を問わず多くのボランティアが支援に駆けつけました。

仙台市社会福祉協議会は災害ボランティアセンターの運営主体である秋田市社会福祉協議会からの支援要請を受け、7月25日から9月4日までの間、17名の職員が交代で応援に向かいました。

現地では、猛暑が続く中、水に浸った家具や畳の運び出し、床の掃除など、ボランティアによる支援が行われました。一方で、被災された方々から「片付けをお

願いたいけどどこに依頼をすればいいかわからなかった」「自分の家よりも被害が大きい家が多くあると思うお願いできなかった」という声が聞かれ、発災時に早い段階から住民の方々の声を受けとめる体制づくりの必要性を強く感じました。

仙台市社会福祉協議会では、引き続き、災害ボランティアセンターの存在や、被災した際のボランティアの依頼方法を、広報誌やホームページ、講座を通して住民の方々に発信していきます。

もし、災害が発生し、ご自宅やご近所の方でお手伝いが必要な際は、仙台市ボランティアセンターまたは、各区ボランティアセンター・宮城支部事務所までご連絡ください。

仙台市災害ボランティアセンター  
ホームページはこちら

<https://www.ssvc.ne.jp/>



# イベントインフォメーション

## 第4回 ごみ拾いボランティア交流会

3名1チームで行うチーム対抗戦のごみ拾い!時間内に回収したごみの量や歩数で競い、上位入賞チームには豪華景品も?!ボランティア活動に取り組むきっかけや、企業や団体同士の交流の場としてぜひご参加ください!これまでの開催の様子は仙台市社協公式YouTubeチャンネルでご覧頂けます。



**日時** 10月21日(土) 8:40~10:00  
(雨天中止)

**参加条件** 3名1チームでの申込(企業・団体・家族等)

**申込・問合せ** 仙台市ボランティアセンター TEL 022-262-7294

## アートカフェ

仙台市内でボランティア活動に取り組んでいる仙台市ボランティア連絡協議会の皆さんと一緒に、季節の折り紙などのハンドメイド作品を制作しませんか?みんなで交流しながら楽しく作り方を覚えて、自分の地域で活動してもよし!おうちで楽しんでよし!年齢・性別問わずどなたでも大歓迎です。ご参加お待ちしております!



**日時** 11月10日(金) 10:00~15:00  
(お昼休み12:00~13:00)

**場所** 仙台市福祉プラザ4階 仙台市ボランティアセンター

## ボランティアフォーラム

「アフターコロナのまちづくり~みんなで取り組む楽しいまちづくりのコツ~」をテーマに開催します。大学生や企業、団体の活動紹介や、ボランティア体験コーナーなどなど、出会いや情報が盛り山!ぜひご参加ください。令和4年度の開催の様子は仙台市社協公式YouTubeチャンネルをご覧ください。

**日時** 11月25日(土) 13:00~15:30  
(開場:12:30)

**会場** 仙台市福祉プラザ2階  
ふれあいホール・展示ロビー

**申込・問合せ** 仙台市ボランティアセンター  
TEL 022-262-7294



### 青葉区ボランティアセンター

仙台市青葉区二日町4-3 仙台市役所二日町分庁舎1階 TEL022-265-5260

### 青葉区宮城支部事務所

仙台市青葉区下愛子字観音堂27-1(仙台市宮城社会福祉センター内) TEL022-392-7868

### 宮城野区ボランティアセンター

仙台市宮城野区原町3-5-20 メゾン坂下1階 TEL 022-256-3650

### 若林区ボランティアセンター

仙台市若林区保春院前丁3-1 若林区中央市民センター別棟1階 TEL 022-282-7971

### 太白区ボランティアセンター

仙台市太白区長町南3-1-30南部アーチル1階 TEL 022-248-8188

### 泉区ボランティアセンター

仙台市泉区泉中央2丁目24-1(泉地区休日診療所跡) TEL 022-372-2603

※令和5年度は大規模改修工事に伴い仮事務所に移転しています。

▼ 掲載記事に関するお問い合わせは仙台市ボランティアセンターまで ▼



社会福祉法人

仙台市社会福祉協議会

## 仙台市ボランティアセンター

〒980-0022

仙台市青葉区五橋2丁目12-2 仙台市福祉プラザ4階

TEL 022-262-7294 FAX 022-216-0140

▼ホームページはこちら

<http://www.shakyo-sendai.or.jp/>

仙台市ボランティアセンター

検索

